

2021年7月6日

逗子市長 桐ヶ谷 覚 様

逗子市教育委員会 教育長 大河内 誠 様

日本共産党逗子市議会議員団

団 長 岩室 年治

橋爪 明子

## 生理用品の無料配布等と女性の貧困対策を求める要望書

コロナ禍で女性の貧困が深刻さを増す中、「生理の貧困」が社会問題化しています。全国の自治体のなかには、更新時期を迎えた防災備蓄用の生理用品(保証期間5年、市の備蓄は一部7年経過した物あり)を無料配布するなど迅速な取り組みが広がりをみせています。こうした自治体の動きを受け、国は交付金の対象に生理用品の無料配布を加えました。

逗子市と逗子市教育委員会においても、早急に生理用品の無料配布等に取り組むよう、以下について要望します。

### 記

1. 市として生理用品の無料配布を行うこと。
2. 生理用品とともに食料品等の必需品も配布すること。
3. 無料配布の際、女性の様々な相談を受けられるようにすること。
4. 社会福祉協議会等が行うフードバンクなどでも、生理用品の無料配布ができるよう支援すること。
5. 市立小・中学校においても、保健室での生理用品の無料配布と併せて、女子トイレに生理用品の配置を行うこと。